



【編集・連絡先】

広島市下水道サポーター協議会
(事務局)広島市下水道局経営企画課
広島市中区国泰寺町一丁目 6-34
TEL:082-504-2265
FAX:082-504-2429
Email:gesui@city.hiroshima.lg.jp

会員数/ 61人 令和6年3月末現在

皆川みどり 下水道サポーター協議会会長 挨拶

平成18年(2006年)に広島市下水道サポーター協議会が設立されて18年。近年、コロナ禍に阻まれて思うような活動が出来ませんでした。今年度から9月にフェア、11月に見学会と行事が戻って来ました。また新しい試みで、下水道の汚泥を使い、「カンナ・プロジェクト」とコラボして平和公園の一角にカンナの花壇を作りました。今、出来ることはやって行こうと前を向いています。

この広報誌「すいせい」もサポーター協議会会員の編集作成になりましたので、会員以外の方にも見て頂ける情報発信を目指します。

令和3年「ひろしま下水道ビジョン2030」策定には、下水道サポーター協議会会長も委員に加えていただきました。広島市と共にこれからの下水道を見守り育てていきたいと考えています。

小松康二 下水道局長 挨拶

下水道サポーター協議会の皆様には、日頃から下水道事業へのご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

下水道は、市民生活に不可欠なインフラでありながら、普段目に触れることが少なく、その重要性に気付きにくい。市民に興味・関心を持っていただくことは重要で、そのための普及啓発活動は欠かせません。

それだけに、その活動に一役買っていていただく下水道サポーターの皆様は、本市にとって大切な存在です。

今後とも、下水道ふれあいフェア等の本市イベントへの積極的な参加や、周囲の方々への下水道知識の伝播などによる普及啓発活動への支援をお願いいたします。

おわりに、皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。

下水道サポーター令和5年度活動報告及び令和6年度活動計画

活動項目	活動内容	参加人数	5年度実施日	6年度計画(予定)
小学校出前講座	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動自粛	- 名	-	支援活動再開 (5月~11月)
下水道ふれあいフェア準備	ふれあいフェアで配布する「堆肥」の袋詰め作業	7名	8月30日	8月末
下水道ふれあいフェア	マンホール T シャツ・ストラップの販売、堆肥配布	10名	9月10日	9月10日前後
協議会施設見学会	カーボンリサイクル実証研究施設	19名	12月20日	11月~12月
運営委員会現場見学	観音地区下水道築造3-1号工事(シールド工法)の見学	8名	12月22日	11月~12月
運営委員会 (臨時委員会含む)	サポーターの活動について協議 (3月時点で運営委員14名)	延べ 51名	4/26・6/29・ 9/21・1/24 (臨時3/6)	6月・9月・ 1月・3月

下水道ふれあいフェア



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から3年間ふれあいフェアは中止していましたが、9月10日に久しぶりに開催できました。

協議会のブースでは、子供たちに六角絵の作り方指導や、Tシャツやマンホールストラップの販売・堆肥の無料配布など市民との触れ合いができました。

(フェア準備 堆肥の袋詰め作業)



(協議会の販売ブース)



(カードの紹介展示)



(六角絵の指導風景)

協議会施設見学会

12月20日に大崎上島町にある「カーボンリサイクル実証研究施設」の見学会を開催しました。今回は、マイクロバスによる移動のため、参加人数を制限しての実施になりました。

大崎クールジェン(株)で発電所から出る排ガスから分離・回収されたCO₂ガスを活用して、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を志す基礎研究や実証研究を実施している各施設の見学を行いました。

CO₂と水素を活用し、バイオ発酵や触媒を使用して新たな原料を作る研究や、微細藻類を育てて油を取り出し燃料に活用する研究施設などを案内いただきました。特に興味を持たれたのは、藻類にCO₂を加え光合成によって育て、乾燥させて油分を抽出する研究です。すでにジェット機の燃料に一部混ぜて飛行したこともあると研究員から紹介されました。



(CO₂貯槽)



(様々な微細藻類)



(藻類育成中)



(乾燥した藻類)

運営委員会見学会

12月22日に、協議会の運営委員のメンバーで観音地区雨水幹線築造現場の見学を行いました。深さ約45mの立坑を降りて、これから内径5mの雨水管を築造していくために掘削する「シールド機械」を身近で見ることができました。



初コラボ！！汚泥を使ってカンナを咲かそう！！

「カンナ・プロジェクト」の方々と「下水道サポーター協議会」の協働で平和公園（かき船かなわ近く）の一角に2月14日に花壇作りをしました。

下水道処理で生まれた汚泥堆肥を赤玉土と腐葉土に混ぜて土作りをしました。4月になってカンナの球根を植える予定です。

原爆投下から1ヶ月後に爆心地820mで咲いたと言われるカンナがよりきれいに咲く事を願っています。



下水道サポーター養成講座

今年度の下水道養成講座が1月31日・2月7日・16日・21日の4回にわたって開催され、新たに10名のサポーター協議会員が誕生しました。

第30期生として私たちの仲間に入りしました。よろしくお願いいたします。



4月の活動予定

- ・ 4月13日(土) 10時～
「カナナ・プロジェクト」との協働でカナナの球根植え付け
- ・ 4月24日(水) 14時～
広島市下水道サポーター協議会総会

広島市下水道局からのお知らせ

2月23日、西区の福島公園で雨水幹線整備工事の「シールドマシン」と呼ばれる大型の掘削機械の発進式を行いました。これは、昨年12月22日に下水道サポーター協議会の運営委員会の見学会を実施した工事現場です。

発進式には、松井市長をはじめ町内会や工事関係者など約50人が参列して工事の安全を祈願しました。

福島地区からJR横川駅付近までの全長3.5キロほどをおよそ2年かけて掘り進め、雨水管の完成は令和10年を見込んでいます。

松井市長は「近年、豪雨災害が頻発する中で被害を未然防止するための工事となっている。雨水を地下にしまい込む巨大な貯水槽のようなもので、安全に完成することを祈願したい」と話していました。



次号(14号)の掲載予告

9月末発行予定

○広島市下水道サポーター協議会総会の報告

○下水道ふれあいフェアの報告 など

編集後記

コロナウィルスの拡大防止の観点から、下水道サポーター協議会の活動も制限され、下水道サポーター通信も、3年間発行できませんでした。

今回の再発行にあたって、できれば年2回の発行にして、情報を早めに届けるようにしたいと思っております。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。

Email: gesui@city.hiroshima.lg.jp

「下水道サポーター通信」のバックナンバーは次のQRコードをご覧ください。

